

冬に向けて、感染防止のための7つのルール

学長 三井 知代

立冬を迎え、冬の気配が感じられるようになってきました。同時に、新型コロナウイルス感染症が、全国各地で再び拡大し始めています。私たちは2月からのコロナ禍での生活にも随分と慣れ、少し気も緩み始めているかも知れません。

しかし、イベントが続くこの時期、人が集まる場所での感染リスクが高まっています。この冬は、以下の「本学学生の感染防止のための7つのルール」を守り、体調管理に努めましょう。私たちひとりひとりが感染を予防し、自分の健康を守ることが、同時に神戸親和女子大学のキャンパスを守り、私たちの社会の安全を守ることにつながります。

気を引き締めて、ともに頑張りましょう。

本学学生の感染防止のための7つのルール

1. マスクの着用
2. 人と人との距離（1～2 m）の確保
3. こまめな手洗い、手指消毒
4. 教室の換気（30分毎に5分程度）
5. 毎朝の検温と健康管理の徹底
6. 昼食時は距離を取り、対面にならず、会話をしない
会話をする時はマスクを着用。大人数での飲食を伴う集まりは行わない
7. 体調が悪い場合（熱、風邪症状）は登校しない



気をつけて！

昼食時の会話、また、飲食を伴う懇親会等、大人数や長時間におよぶ飲食が特に危険です。